

日米の若いリーダーシップの育成を目指す「TOMODACHI イニシアチブ」教育プログラム

～日米関係の促進に興味を持つ米国への交換留学生(大学学部生)対象～

## 2026 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム ご案内 および 第 13 期生募集要項

TOMODACHI イニシアチブは、米日カウンシルと在日米国大使館が主導し、日本国政府の支援もを受けて実施されている官民パートナーシップです。東日本大震災後の復興支援をきっかけに生まれ、リーダーシッププログラムを通じて、日米の次世代のリーダー育成に投資しています。住友商事は TOMODACHI イニシアチブに 2013 年に参画し、「TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム」を設立し、2014 年度から 2025 年度の 12 年間で米国の大学に 1 年間交換留学する日本人学生 97 名を支援してまいりました。2018 年度には、募集対象校の拡大や奨学金に付帯するプログラムの拡充を図りました。

本プログラムの対象大学に在籍中で、アメリカの大学へ交換留学をする学部生に対して、渡航費および留学中の生活費の支援として、1 名につき年間 180 万円の給付型奨学金を支給します。また、交換留学中に実施される米州住友商事の企画による東海岸での研修、また帰国後は、TOMODACHI イニシアチブが運営するアラムナイ・リーダーシップ・プログラムへ参加し、日米関係に深く関わる様々な人々との交流などを通して、次世代のリーダーとしてのスキル向上を支援します。



## ■ TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として実施される本プログラムは、住友商事による寄付により、アメリカの大学への交換留学をする日本の対象大学の学部生を支援しています。参加者には渡航費および留学中の生活費を支援するため、1名につき年間 180 万円の給付型奨学金が支給されます。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通して、日米間に関わる様々な人々と交流し、日米関係の促進や世界に貢献できるリーダーになることを目指します。

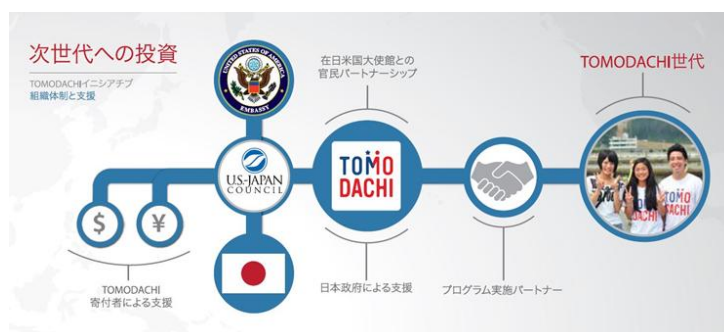
## ■ TOMODACHI イニシアチブとは

### Mission

TOMODACHI イニシアチブは、米日カウンシルと在日米国大使館が主導し、日本国政府の支援も受けて実施されている官民パートナーシップです。東日本大震災後の復興支援をきっかけに生まれ、リーダーシッププログラムを通じて、日米の次世代のリーダー育成に投資しています。

### Vision

日米関係の強化に積極的に取り組み、互いの国や文化を理解し尊重し合うとともに、より協調的で繁栄した、安全な世界の実現に貢献する「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。TOMODACHI 世代とは、グローバルなスキルと視野を持ち、国際社会で活躍できる日米の若いリーダーたちです。



### History

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は米日カウンシルと在日米国大使館が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

### Program

リーダーシップ育成を主な柱としてプログラムを実施しています。また、TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通してプログラムの壁を越えて参加者同士が交流を持てるような様々な機会を設け、日本とアメリカの若者たちにインスピレーションを与え、TOMODACHI での経験をさらに一歩進めるサポートも行っています。

## ■ 住友商事株式会社

住友商事は、グローバルに活動している総合商社です。全世界に展開するネットワークとさまざまな産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開しています。また、住友商事では、次世代人材の育成支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、アジア発展途上国における「住友商事奨学金」による学業支援や、東日本大震災の復興支援に携わる若者を支援する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」などを実施してきました。「TOMODACHI イニシアチブ」を通じて、将来、日米の懸け橋となってグローバルに活躍する多くのリーダーが誕生することを期待し、支援していきます。

# 2026 年度プログラム

## 対象者

北海道大学、東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学、琉球大学の交換留学生としてアメリカの大学に留学する学部生

## プログラム構成

### 日米の次世代リーダー育成プログラム

#### 留学への抱負や将来の目標について共有

プログラム参加者が一堂に会し、米日カOUNシル、米国大使館、住友商事の関係者との交流を通して、留学計画や米日関係について意見交換します。事前研修では、リーダーシップスキルをテーマとしたワークショップや帰国学生との交流を通して留学の目的や行動計画を明らかにしていきます。



#### 米州住友商事による東海岸での研修（3～5 日程度）

米州住友商事、米日カOUNシル、グローバル企業や政府機関を訪問し、日米関係に携わる若者や各界の第一人者と面談。将来の日米関係に対してどのようにリーダーシップ発揮していくかを考えるきっかけを得ます。  
※実施期間や内容は、状況により変更がある可能性があります。



#### 留学の成果や今後の計画を発表

留学を通して学んだことを将来の日米関係の発展にどのように活かしていくかについて発表します。また、米日カOUNシル、米国大使館、住友商事の関係者との交流を通して、今後の活躍の礎となる日米のネットワークを構築します。



### 留学奨学金 (180 万円)

【7 月下旬頃】  
準備金として  
45 万円を支給

【8 月～4 月】

毎月 15 万円  
を支給

※奨学金の合計  
額は準備金を  
含めて 180 万円

住友商事社員による  
メンター制度（留学中）

TOMODACHI Alumni  
Leadership Program

プログラム終了後も TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムへの参加を通し、日米そして世界のリーダーを目指します。

TOMODACHI イニシアチブのこれまでの参加者は日米合わせて約 10,000 名以上を数えます(2025 年 11 月時点)。TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムを含む TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者(TOMODACHI アラムナイ)は、TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通じて多くの日米の若者と交流を持ち続けながら、日米そして世界のリーダーとして活躍するために必要なスキルを磨くことができます。

詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのホームページをご覧ください。  
<https://usjapantomodachi.org/tomodachi-alumni-leadership-program/>



## 第12期生紹介



浅見 清豪

慶應義塾大学  
経済学部

留学先  
ハワイ大学マノア校

### 留学先での目標

国際情勢が不透明化する中、私は世界の食料安全保障を支えるための農業経済学を学びたいです。アメリカ型の効率的な農業政策を学ぶことで、日本への応用可能性を探りつつ、国土資源の最適な活用に関する知見を深めていきたいと考えています。



星野 早紀

東北大学  
農学部応用生物化学科

留学先  
カリフォルニア大学  
デービス校

### 留学先での目標

私は、世界の健康寿命の延長に貢献する機能的食品を開発したいと考えています。食品開発や環境保全を牽引するアメリカで、環境に配慮した持続可能な食品開発を学び、研修や課外活動を通してリーダーシップや広い視野を身につけます。



糸目 仁頼

大阪大学  
工学部応用自然科学科

留学先  
オレゴン大学

### 留学先での目標

私は将来、バイオテクノロジーの分野から認知症の根治薬や治療法の開発に取り組めます。そのために、バイオテクノロジー産業を牽引するアメリカで、生化学、生物工学、そしてそれに関わる英語の知識を深めたいです。



川村 良介

九州大学  
工学部航空宇宙工学科

留学先  
イリノイ大学  
アーバナ・シャンペーン校

### 留学先での目標

私は将来、国際的に活躍する宇宙開発に携わるエンジニアになりたいと考えています。航空宇宙産業を牽引するアメリカにて、自身の専門性を深めるとともに、現地の研究者と積極的に交流し、研究成果を上げることが目標に学びます。



北岸 遥奈

同志社大学  
文化情報学部  
文化情報学科

留学先  
カリフォルニア大学  
サンタバーバラ校

### 留学先での目標

私は、データサイエンスを用いて、持続可能で豊かな都市開発に貢献できる人を目指します。そのため、データサイエンス分野で世界をリードする大学で、データ可視化や統計手法などを学び、現場で活かせる分析力と課題解決に向けた実行力を身につけたいです。



松本 慧万

中央大学  
国際経営学部

留学先  
テネシー大学  
ノックスビル校

### 留学先での目標

私は、ソフトパワーの推進を通して、人々が互いの文化を尊重し合える社会を実現していきたいと考えています。特に、文化の力を活かした国際的な交流やビジネスの促進に関心があり、マネジメントやマーケティングを学びながら、国際的な文化保護やソフトパワーの価値創造について探究していきたいです。



中島 彩瑛

大阪大学  
外国語学部外国語学科

留学先  
カリフォルニア大学  
サンディエゴ校

### 留学先での目標

私は、移民問題を中心に多文化共生について学びたいと考えています。国籍や文化的背景の異なる人々が共生できる社会を作るための学びを得たいです。メキシコ国境に近いサンディエゴで学ぶことで、多文化共生のあり方についてより多角的に考えたいです。



大川 真凜

京都大学  
工学部

留学先  
フロリダ大学

### 留学先での目標

私は日米両国の経済発展と経済界の女性活躍に貢献できる人材を目指します。留学先では授業や東海岸研修への参加を通して経済経営分野の知見を深めると同時に日本や世界に対してのより多角的な見方を獲得したいと考えています。



大前 成太郎

京都大学  
文学部

留学先  
フロリダ大学

### 留学先での目標

国際政治について多角的に学ぶことにより、より開かれた視野を獲得することで貧困・飢餓をはじめとする国際的な諸問題を解決するための素地を身につけたいです。また、積極的に他者と関わることを通じ、これまでに築き上げてきた価値観を再構築するような経験を積みみたいです。



佐々木 結

早稲田大学  
政治経済学部  
国際政治経済学科

留学先  
ワシントン大学

### 留学先での目標

社会問題をビジネスで解決できる教養を身につけるために、イノベーションの地であるシアトルで起業（アントレプレナーシップ）を学びたいです。日本では学べないような、ワシントン大学の実用的なビジネスの授業を通じ、将来日本の社会問題を斬新なアイデアで解決したいと考えています。

### お問い合わせ先

#### 「TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム」事務局

Email: [tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org](mailto:tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org)

URL: [www.tomodachi.org](http://www.tomodachi.org)

お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨を明記ください。

TOMODACHI イニシアチブについて >>

[www.tomodachi.org](http://www.tomodachi.org)

住友商事について >>

<http://www.sumitocorp.co.jp/>

TOMODACHI 住友商事



2026 年度の申請要件等の詳細は本紙の募集要項をご確認ください。また、申請書類の入手方法および申請締切日に関する情報は、在籍大学の国際交流・留学を担当している部署にお問い合わせください。

## 2026 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 募集要項（学生向け）

本プログラムが指定する大学に所属し、同大学が実施するアメリカの大学への交換留学に内定または決定している大学学部生で、TOMODACHI イニシアチブの趣旨、および本プログラムの目的を理解し、将来、日米関係を通してグローバルに活躍するリーダーになるという強い意思がある学生を募集します。

### 【本プログラムが指定する対象大学】

北海道大学、東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学、琉球大学

### 【募集内容】

<b>求める人材像</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラム参加後に、日米関係のさらなる発展に貢献し得るグローバルリーダーとして活躍したいという強い希望がある者</li> <li>・他者の模範となる振る舞いができ、人間性に優れる者</li> <li>・文理および専攻分野に関わらず、学業に意欲的で優秀である者</li> <li>・TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム及び TOMODACHI イニシアチブの他プログラムの経験者、あるいは将来参加することを希望している学生との交流の機会に、プログラム終了後も積極的に参加する意思がある者</li> </ul>
<b>プログラム内容</b>	<p>本プログラムは、アメリカへの交換留学に参加する学生を対象に、日米の次世代リーダー育成を目的とする TOMODACHI イニシアチブの一環として実施されます。参加者は、渡航前のオリエンテーションおよび奨学金授与式、アメリカ留学中に米州住友商事により行われる研修、メンター制度、そして留学後の帰国後報告会を通じて、日米関係に携わる人々と交流し、日米関係の発展に求められるリーダーシップを磨きます。また留学後は、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムの活動や行事および TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者を対象に実施される TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムに積極的に参加することが求められます。本プログラムの参加者には、アメリカへの交換留学にかかる渡航費や生活費の支援を目的とした奨学金が付与されます。</p>
<b>奨学金支給金額</b>	<p>180 万円(給付型)</p> <p>※支給スケジュール:2026 年 7 月 25 日までに準備金として 45 万円を、2026 年 8 月から 2027 年 4 月まで、毎月 25 日までに 15 万円ずつ支給する。25 日が土日祝祭日または管理者の休業日にあたる場合は、直前の管理者の業務日までに支給する</p> <p>※上記に加え、東海岸研修にかかる移動費および宿泊費、また留学先大学から東海岸研修地までの移動費は米日カウンシル及び住友商事にて援助される</p>
<b>応募要件</b>	<p>以下のすべての条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムが指定する大学に在籍している学部生であること</li> <li>・在籍大学の交換留学生として、アメリカの大学に 2026 年 8 月または 9 月から1年間(約 8～10 カ月間)留学することが内定し、かつ単位取得を目的としたアメリカ現地での留学を計画している者(オンライン受講での留学は対象外とする)</li> <li>・日本国籍又は日本における永住権を保持している者</li> <li>・過去連続して 37 ヶ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者             <ul style="list-style-type: none"> <li>注)6 歳になるまでの滞在経験は含まない</li> <li>注)過去連続して 13 カ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者が望ましいが、連続する在住・滞在経験が 37 カ月未満の場合は応募可能</li> </ul> </li> <li>・他の給付型留学奨学金を受けない者(但し、米日カウンシル渡邊利三寄付奨学金については、主催者側の判断によって同時給付を認める場合もある)             <ul style="list-style-type: none"> <li>注)貸与型の奨学金及び国内の大学に就学するための奨学金であれば、本プログラムとの重複受給は可能</li> </ul> </li> <li>・在籍大学の学長からの推薦を受けられる者             <ul style="list-style-type: none"> <li>注)応募書類を在籍大学に提出した学生の中から、在籍大学内での審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定(詳細は本要項の「応募方法と選考プロセス」参照)</li> </ul> </li> </ul> <p>※文理や専攻分野は問わない。</p> <p>※学期中に語学コースに在籍する場合は対象外とする。学期開始前に開催される短期の語学コースへの参加は可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の研修・会議等に全て参加できること             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2026 年 6 月(予定)に行われるオリエンテーション、および 7 月 6 日・7 日(予定)に都内で行われる式典と事前研修</li> <li>② 留学中に米州住友商事により実施されるニューヨークでの東海岸研修(2027 年1月～3 月頃を予定))</li> <li>③ 帰国報告会(2027 年 6 月～7 月を予定)</li> </ol> </li> <li>・内定後～プログラム期間中、各種提出物(報告書など)を定められた期限内に提出できること</li> <li>・住友商事役職員によるメンター制度の利用を希望する者は、制度の趣旨を理解し積極的に活用すること</li> </ul>

募集人数	対象大学より約 10 名
応募方法と 選考プロセス	<p>アメリカの大学との交換留学プログラムの学内選抜に合格後、以下の手順で応募すること</p> <p>1: 在籍大学の国際交流・留学を担当している部署で募集要項・申請用紙の入手方法を確認する ※</p> <p>2: 次項に記載の応募書類を在籍大学の国際交流・留学を担当している部署へ提出する</p> <p>その後、在籍大学による審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定される ※</p> <p>3: 事務局、住友商事による書類審査・面談を経て、在籍大学を通して合格が通知される</p> <p>※在籍大学への書類提出先及び提出期日は、在籍大学の国際交流・国際教育担当部署に問い合わせること</p> <p>該当部署が不明な場合は、「本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先」に確認すること</p>
合格発表	結果は、5 月上旬までに在籍大学を通じて通知します。
応募書類	<p>・TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム申請用紙(所定用紙)</p> <p>・英文エッセイ(所定用紙)</p> <p>・自己 PR 動画</p> <p>注)日本語または英語で 30 秒程度の、自身の個性が伝わるもの。最大 100MB の Mp4 形式で提出。縦横・編集の有無などは問わない</p> <p>・留学先大学からの受入れ許可書の写し</p> <p>注)申請時に留学先大学から発行されていない場合は、後日提出を認める</p> <p>・在籍大学の英文成績証明書</p> <p>・TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS の公式スコアレポートの写し</p> <p>注)オンライン上で確認できるスコアレポートでも可</p> <p>注)応募するにあたって満たす必要のあるスコアの規定は無い</p> <p>・パスポートをカラーで印刷したもの(顔写真があるページ)</p> <p>注)日本国籍保持者でない場合は、在留カードの写しを添付すること</p> <p>注)申請時にパスポートを保持していない場合は、後日提出を認める</p> <p>※選考の過程で必要と判断した場合、更なる書類の提出を求める場合がある</p>
その他	<p>・留学の内容が変更になった場合や交換留学への参加が不可能になった場合は、早急に <u>TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局</u>まで通知すること</p> <p>・留学中、各学期開始時には履修登録内容を、各学期終了後には留学先大学からの成績証明を TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局まで提出すること</p> <p>・留学中、定められた形式で中間及び最終報告書を TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局まで提出すること</p> <p>・留学前に実施する奨学金授与式、留学中に米州住友商事が実施する研修、帰国後に実施する留学報告会への参加を必須とする</p> <p>・以下のいずれかに該当した場合は、内定の取り消し、または奨学金の支給を停止することがある。場合によっては既に支給した奨学金の返還を求めることがある</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 1年間のアメリカの大学との交換留学への参加が不可能になった場合、もしくは途中で中止になった場合</li> <li>2: 在籍大学または留学先大学から留学の継続が不適当と判断された場合</li> <li>3: 本奨学金プログラムの関連行事・研修を無断で欠席した場合</li> <li>4: 留学先での学業成績が不良(単位取得不可等)の場合</li> <li>5: 法律や社会秩序に反する行為を行った場合</li> <li>6: 予定より著しく早く帰国した場合</li> <li>7: 虚偽の申告をしていることが判明した場合</li> <li>8: 必要な書類が期日までに提出されなかった場合</li> <li>9: 応募条件が満たせなくなった場合</li> <li>10: 米日カウンスル、住友商事の名誉を傷つける行為を行った場合</li> </ol>
個人情報の取扱いについて	<p>(1) 個人情報の管理</p> <p>事務局、住友商事および米州住友商事は、本奨学金に関連して取得した応募書類・申請書類・報告書等に記載される全ての個人情報を個人情報保護に関する法令等に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、法令により認められている場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。</p> <p>(2) 個人情報の利用目的</p> <p>事務局、住友商事および米州住友商事は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 本奨学金奨学生を選考するため。</li> <li>2: 本奨学金支給事務のため。</li> <li>3: 本奨学金に関連する各種研修・イベント・メンタリング・アンケート・アラムナイブプログラム等を実施するため。</li> <li>4: TOMODACHI イニシアチブにて実施するイベントの案内や参加の際の連絡手段のため。</li> <li>5: 事前に奨学生本人の承諾を受けた上で、広報目的に利用するため。</li> </ol>
本奨学金 プログラムに 関する お問い合わせ先	<p><u>TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局(公益財団法人米日カウンスルー・ジャパン TOMODACHI イニシアチブ内)</u></p> <p>Email: <a href="mailto:tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org">tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org</a></p> <p>※お問い合わせの際は、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨を明記ください</p> <p>※電話でのお問い合わせは受け付けておりません</p> <p>※プログラムの詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのサイトでもご確認いただけます。 <a href="http://www.tomodachi.org">www.tomodachi.org</a></p>